



校長室だより

校長 山崎 聡子

3学期が始まりました

令和6年、新しい年が明け、本日、3学期を迎えました。改めまして、今年もよろしくお祈り申し上げます。

今年、1月1日(月)に能登半島で大地震が起きました。日々、被害状況について報じられており、甚大な被害に心が痛みます。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、これ以上の被害が拡大しないことを切に願うばかりです。

始業式の話の中で、能登半島の地震について触れました。被災地では、学校も開始することができない所が多々あることも伝え、元気に登校するという当たり前の日常を迎えることができたことに感謝していきたいと話しました。

また、正月飾りの門松に関する話と絡めて、次の話をしました。

- ・ 正月飾りの門松に使われている松竹梅はそれぞれに意味がある植物であること。
- ・ 特に竹は、光に向かって曲がらずに真っすぐに伸びていくとともに、成長していく過程で節を作りながら、折れない強い竹になること。
- ・ 節目という言葉は、竹の節から生まれた言葉であり、大切な区切りになる時という意味があること。
- ・ 新年は1年の大きな区切りの時であること、3学期の始業式も大切な区切りの時であること。この節目を大切に、目標や計画を立て、実現に向け、竹のように真っすぐに進んでいってほしいこと。

3学期は、短い学期ですが、学年のまとめとなる大切な時期です。まとめをしっかりと行うことができれば、次の学年へ新たな一歩を自信をもって、気持ちよく踏み出すことができると思います。一日一日を大切に、子供たちと過ごしていきたいと思っています。

座間市成人式

1月8日(月)に、ハーモニーホール座間で成人式が行われました。令和5年度の新成人は、1163名。今年の成人式は、私が相武台東小学校で担任として最後に受け持った子供たちが新成人となり迎えた式でした。大学等で学んでいたり、4月から社会に出る予定であったり、すでに社会の一員として活躍したりと、一人一人が自分の道を切り開いているという話を聴き、力をいただきました。小学生の頃の子供たちの姿を懐かしく思い出しながらも、輝いた表情で大きく立派に成長している姿を目にすることができ心から感動しました。

市長からの式辞、市議会議長からの祝辞があり、新成人代表挨拶がありました。新成人代表挨拶では、今まで支えてくれた、家族、友人、学校の先生方、地域の方への感謝とともに、これからは自分たちが思いやりの気持ちを大切にして、心遣いのできる人になり、一步一步進んでいきたいと、前向きで温かな思いが込められたすばらしい言葉を会場全体に伝えていました。

これからの社会を担う若者の活躍を願いながら、私自身も成長し続けていきたいと気持ちを新たにしました。